

太良町の合併問題について、町会議員はどんな公約をしていたのか？

2004.6.25

住民投票で「合併反対」という町民の意志が示された後、町議会がどのように対応するかが問われています。そこで、町会議員のみなさんが昨年7月20日に行われた町議会議員選挙でどんな公約をしていたか調べてみました。

町長選挙 - - 百武町長は、「住民投票の結果を尊重して対応する」と公約

その前に、町長選挙の公約を見て見ます。

百武町長は無投票当選でしたが、町選管に提出された「選挙公報原稿」には、「住民投票の結果を尊重して対応する」と記載されています。現在、百武町長が住民投票の結果を受けて、「鹿島と合併しない」という態度を取っているのは、公約にかなうこととなります。

百武豊	市町村合併については合併協議会の協議を経て「住民投票」の結果を尊重して対応する
-----	---

町議選 - - 住民投票に一任か、明確な態度表明ほとんどなし

町議会議員選挙公報に掲載された現職議員の公約を抜き出したのが次の表です。いろいろな表現の仕方がありますが、ここでは、「合併問題」と明記して記載してあるところを抜き出しました。

(議員名は50音順)

岩島 好	直接の言及なし
恵崎良司	合併問題は、県内外の動きも見て、優遇措置にとらわれずじっくり検討すべきと考えます
木下繁義	直接の言及なし
久保繁幸	合併問題の真剣な取組
坂口久信	直接の言及なし
坂口祐樹	直接の言及なし
下平力人	直接の言及なし
末次利男	直接の言及なし
田口 靖	直接の言及なし
竹下武幸	市町村合併問題を目前にして、自然に恵まれた「太良町」をスバラシイ郷土にする為頑張ります
田崎 誓	直接の言及なし
中溝忠喜	「合併問題」や - - - をめざし、「子や孫に誇れる」ふる里になるよう新しい発想と蛮勇をかけてがんばります
浜崎敏彦	直接の言及なし
見陣泰幸	直接の言及なし
山口光章	直接の言及なし
吉田俊章	いま、最大の課題は鹿島との合併問題だと思います。私は現実のみにとらわれず、将来の見通しを誤らない判断が必要と思います

これを見ますと、合併問題については直接言及していない議員が11名です。その他の議員でも、賛否についてはほとんど自分の態度を明確にしません。ということは、大部分の議員さんが住民投票の結果にしたがうという態度をとっていたという言うことでしょうか。

町長選挙では、百武町長は前述のように「住民投票の結果を尊重して対応する」という公約でした。「こんな公約ではダメだ」といって対立候補を立てた議員もいません。百武町長の公約を容認していたこととなります。

以上の点から、町議会が住民投票の結果を尊重して、太良は鹿島とは合併しないことを決めるのはごく自然な成り行きでないかと思えます。